



爽 緑

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.25 令和6年3月12日

令和5年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ~かしこく やさしく たくましい 明神っ子~
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

6年生を送る会

3月1日(金)に「6年生を送る会」を行いました。当日の開会行事で、私から子供たちへ、次のようなメッセージを送りました。

~~~~~

先生は、この「6年生を送る会」という行事を、とても大切に思っています。それはなぜか、それは、これまで1年生から5年生の皆さんが、担任の先生方と一緒に、6年生のために温かい気持ちで、発表の準備をしてきてくれました。また、同じように6年生が下級生のみんなのために、温かい気持ちで準備をしてきてくれました。みんなが、お互いに感謝の気持ちと温かい気持ちを、どのようにして伝えようかと、一生懸命考えて取り組んできたこと、このことが伝わってきて、心が感動するからです。

感謝の気持ちを伝えることに、上手いも下手も、正解も不正解もありません。自分自身の、自分たちの、想いがどれだけ込められているのかが、大切なのです。今日の「6年生を送る会」は、そんな皆さんの優しい気持ちで溢れる素晴らしい会になると思っています。卒業式まであと2週間。6年生と一緒に過ごせる時間を大切にしながら、楽しい会にしていきましょう。

~~~~~

その後の各学年の発表では、どの学年も6年生や下級生を思いやる、感謝の気持ちが伝わってきました。明神小の子供たちの良さは、行動の原点が、やらされているものではなく、相手を想う温かい気持ちに支えられている所です。「6年生に楽しんでほしい。」「6年生に喜んでもらいたい。」という気持ちで発表する下級生と、その発表を感謝の気持ちで受け止めている6年生の姿にとっても感動しました。また、職員もこの行事をとおして、子供たちの心を成長させたいと願い、毎日試行錯誤を繰り返しながら準備を進め、子供たちと真剣に向き合ってきました。

今回の「6年生を送る会」は、そのような子供たち同士、子供たちと教師の一体感を感じられる素敵な行事となりました。



能登半島地震災害義援金



3月8日(金)に、6年生の代表児童7名が市役所社会福祉課を訪問し、皆さんからご協力いただいた募金を届けに行ってきました。この募金は、令和6年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援したいと、6年生や企画VS、JRCVSを中心に、子供たちからの発案で行ったものです。2月19日に児童集会や有志児童が作成したチラシで全校に呼びかけ、2月20日から3月5日まで朝の登校時に募金活動を行ってきました。被災された方々のために、自分たちにできることはないかと考え、自分たちで行動する明神小の子供たちを誇りに思っています。



今回の募金活動では、多くの皆さんにご協力をいただき、50,219円もの募金が集まりました。この義援金は、全額市役所をとおして、被災された皆様に届くように致しました。ご協力ありがとうございました。